

# 堺の偉人！ 与謝野晶子と千利休の ここがスゴイ！

## 女性活躍推進の先駆者

堺の甲斐町にある老舗の和菓子商に生まれた晶子は、明治・大正・昭和の激動の時代に、率直な感情を短歌に込めて表現し、「情熱の歌人」と呼ばれました。また、同じ文学者の鉄幹(寛)の妻であり、11人の子どもたちの母でもありました。歌集「みだれ髪」は、鉄幹へのあふれる愛と青春のみずみずしさを歌い上げ、浪漫主義を代表する作品となりました。

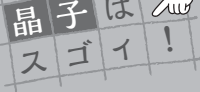


与謝野晶子

更に詩や童話、古典研究など、さまざまな執筆活動を展開する一方、女性の権利に焦点をあてた評論を多く著し、女性が自分の思いをしっかりと伝えることが珍しかった時代に大きな反響を呼びました。女性活躍推進の先駆者として時代を切り開いた晶子のメッセージは、今なお、色あせることなく影響を与え続けています。

### 桜が好き過ぎ

与謝野の家紋は、「ほそやまざくら」で、ほっそりとした一重の桜です。花がとても好きな晶子は、晩年に「大島桜が好きだから、戒名は白桜院にしてください」と、末娘の藤子さんに言っていたそうです。



### 共学は当たり前

晶子・鉄幹夫妻らは、自由で進歩的な教育を掲げ「文化学院」を創設しました。日本で初めての男女共学の中等教育学校であったことに対する質問に、5男6女の子どもを育てた晶子は、「私どもの家では、もうずっと以前から男女共学をやっております」と、冗談めかして応答しました。

### 子育ての節約術

与謝野家のおもちゃというと、椿の葉で草履を作ったり、こよりをよって犬を作ったり、折り紙で海苔巻きを作ったり、雪が降ればお盆の上にウサギを作ったり、晶子はお金をかけずにできる遊びで子どもたちを楽しませていました。

## おもてなしの第一人者

国際貿易港として栄えた堺の裕福な商家に生まれた利休は16歳で家業を継ぐため、教養の一つとして茶の湯を習い始め、18歳で当時の第一人者・武野紹鷗に弟子入りしました。



千利休

その後、天下人となった信長や秀吉に茶頭として仕え、「天下一の茶匠」と呼ばれました。堺の庶民に根付かせた茶の湯文化を、茶道に高めた利休は、やがて「侘び寂び」を求め、「政治の道具」「権力の象徴」として茶道を利用する秀吉との良い関係を続けることができず、秀吉に切腹を命じられ生涯を終えました。余計なものをそぎ落とし心づくしのもてなしをする利休が大成させた侘び茶文化は、その子孫である三千家に受け継がれ現在でも皆さんに親しまれています。

### 光を自在に

いったん土壁で囲い、必要に応じて窓を開けるといった手法で茶室を作る利休は、光を自在に操り茶室内の明暗を調整しました。調光において、現在に至る日本の建築に大きな影響を及ぼしています。



### わびの美学

ある朝、秀吉が利休の茶会に招かれると庭の朝顔が全て引き抜かれて何もありません。がっかりしながら茶室に入ると、床の間にはたった一輪の朝顔が。際立てられた美しさに利休の美学を見せつけられ秀吉は脱帽しました。

### 逆転の発想

秀吉は、水を張った大きな鉢に紅梅を一枝だけ添え、「花を入れてみよ」と利休に命じました。鉢が大きすぎて紅梅一輪をさしてもバランスが悪くなるどころ、利休は逆さに持った枝をしごき水面に花びらとつぼみを入り交ぜて浮かべました。その美しさと風情ある発想に秀吉は上機嫌になったそうです。

### 晶子と利休のことがよく分かる

#### さかい利晶の杜

堺区宿院町西2丁1-1

☎260-4386 FAX260-4725

✉event@sakai-rishonomori.com

開館 9～18時(入館は17時30分まで)

休館 5月18日

観覧料(大人300円、高校生200円、中学生以下100円)



### 与謝野晶子リーディング

《おさなきころの…》私の生い立ち

晶子が幼少期を思い出して書いた自伝「私の生い立ち」をもとに朗読します。

日時 5月22・23日11～12時、14～15時

¥1,500円(展示観覧料含む)

申込 5月1日から直接か電話、FAX、電子メールで氏名(ふりがな)、電話番号をさかい利晶の杜へ。先着各20人

### 晶子フォーラム2021

#### 【演奏と講演会】

日程 5月29日(土) 場所 さかい利晶の杜

¥500円(与謝野晶子倶楽部会員と学生は無料)

▷第1部 演奏「晶子の歌」=時間15～15時20分

▷第2部 講演『「みだれ髪」刊行120年記念—与謝野晶子「みだれ髪」の読み方—自由にかかれた歌集として—』=時間15時30分～17時 講師 立命館大学教授・田口道昭さん 申込 5月6日から。先着30人

【ギャラリー展「アートで彩る晶子の姿」】

日時 6月5～7日9～18時

場所 さかい利晶の杜

#### 【文学踏査】

晶子ゆかりの歌碑巡りと学芸員による展示解説をします。

日時 5月30日(日)10時30分～14時 場所 大阪市内、堺市内、さかい利晶の杜など

¥展示観覧料と交通費 申込 5月6日か

ら。先着15人 申込方法などは、与謝野晶子倶楽部事務局(文化課内) ☎228-7143 FAX228-8174)へ。文化課

### まち歩き演劇「忘れじの朝」

晶子を取り巻く物語を鑑賞しながら、生まれ育った堺のゆかりの地を巡ります。

日時 5月30日(日)10時30分～12時、15～16時30分 ¥2,500円(堺おもてなしチケット・展示観覧料含む)

申込 5月1日から直接か電話、FAX、電子メールで氏名(ふりがな)、電話番号をさかい利晶の杜へ。先着各10人

### 企画展「みだれ髪」刊行120年 晶子をはぐくんだ堺の文学

「みだれ髪」が刊行されるまでの「堺時代」の晶子の文学活動や、当時、晶子と交流があった人たちを紹介します。

日時 5月15日～6月13日9～18時

場所 さかい利晶の杜 5月30日(日)14時から学芸員による展示解説あり。

●新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、イベントは中止・延期となる場合があります。詳しくは市HPへ

